

令和3年第1回

船橋市国民健康保険運営協議会

(令和3年2月開催)

会 議 録

船橋市国保年金課

令和3年第1回船橋市国民健康保険運営協議会(書面会議) 会議録

日 時：令和3年2月1日(月)から3月1日(月)まで

場 所：書面開催

出席者：宇野澤、齋木、多喜、多々良、藤井、寺田、高澤、山崎、赤井、市原、興松、金子、
藤田、文川、高橋、梅島、小林各委員(計17名)

市 側：一

事務局：一

議 題：(1) 船橋市国民健康保険条例の一部を改正する条例案について
(2) 令和3年度船橋市国民健康保険事業特別会計予算案について
(3) 保健事業実施計画(データヘルス計画)の中間評価について

1. 質問及び回答

(1)宇野澤委員 介護認定審査会資料より高齢者の独居、転倒、認知の方々がかなりいらして、家族間で問題となっています。データヘルス計画の中に予防対策事業として追加したらどうでしょうか。これから増々老人が増えてきます。

事務局回答 データヘルス計画は、健診結果やレセプト等のデータから捉えられる課題を、各個別事業としており、高齢者の独居、転倒、認知の予防対策を主な目的とした事業を、当計画に位置付けてはおりませんが、当計画に基づく個別事業として「フレイル予防対策事業」を行っております。この事業では、健診結果から低栄養状態と判断される方に対して、改善を促すための保健指導を行っています。

なお、高齢者の介護予防対策を行うことは重要な取組であることから、船橋市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画において、地域包括ケアシステムを実現するための5つの基本方針の1つに「予防」を掲げ、一般介護予防事業等で転倒予防や認知症予防に資する事業を展開しております。

(2)齋木委員 議題につきましては全て了承です。

保健事業、中間評価についてですが、分析、方向性、要因は理解出来ました。具体策をいかに実行するかによります。行動計画による着実な成果を期待します。

また、かかりつけ医との連携が極めて大きなポイントと思われます。正確な情報交換が必要と思われます。社会保障全般の問題ですが、弱者救済は当然ですが、その要因別による範囲の制限も必要ではないでしょうか。自助の

ところがだんだん小さくなって来ている様に思います。年齢、所得の同水準の仲間は同じ様なところを感じていると思います。

事務局回答

ご指摘の通り、本計画の目標達成には患者・医療機関・行政との連携を図ることが重要なポイントだと考えております。本市では「慢性腎臓病対策事業」「糖尿病重症化予防対策事業」の推進のため、各医療機関へ本課で実施する各事業の内容や対象者数等について個別説明を行っております。併せて、当該事業対象者の治療方針や保健指導の情報等も共有し、より正確で効果的な連携を目指しております。今後も対象者には受診勧奨や保健指導を行いつつ、医療機関との連携の基礎強化を図ってまいります。

(3)市原委員

医療費負担の大きい人工透析患者の増加をおさえることが必要と思います。特に患者、医療機関、行政との連携を密にして透析予備群の人々に対応して欲しい。

事務局回答

ご指摘の通り、患者・医療機関・行政との連携を図ることが重要と捉えています。本市では、透析予備群の人々への対応につきましては、市医師会と連携し、「慢性腎臓病対策事業」「糖尿病重症化予防対策事業」を実施することで、人工透析導入者の減少を目指しています。引き続き、対象者には受診勧奨や保健指導を行いつつ、医療機関への個別説明を通じて、情報共有の基礎強化を図ってまいります。